

かがやき

学校だより第4号

令和2年6月30日

草津市立山田小学校

や やさしく・・・人権を大切にする いじめを許さない
ま まけない・・・よく考え ねばり強くやりぬく
だ ダイナミック・・・たくましく力強く 生き活きとしている

まわりの大人が心のコーチになれば、子どもは伸びる！

私はこれまでたくさんの子どもたちを見てきました。その中で伸びる子には、必ず心のコーチがついていました。伸びる子は学力・体力だけでなく、コミュニケーション能力も優れています。

保護者や教員など、まわりの大人たちが子どもの心のコーチになれば、子どもたちの幸せな自立を促すことができると言われています。今回はコーチ、コーチング（コーチの仕事）を紹介します。

1 コーチの元々の意味は？

コーチの元々の意味は馬車です。客を乗せて、客の行きたいところへ連れて行くのが馬車です。バッグなどのブランドのCOACH（コーチ）のロゴマークは馬車です。

2 コーチに必要な5つの要素とは？

コーチには5つの要素が必要だと言われています。頭文字を盾に見るとCOACH（コーチ）になります。

Comprehension（コンプリヘンション）理解力

Outlook（アウトルック）見通し

Affection（アフェクション）愛情

Character（キャラクター）人間性・人柄

Humor（ユーモア）ユーモア

3 コーチの仕事（コーチング）とは？

たとえば、バスケットボールのコーチなら、まずは練習しやすい環境を用意する。そして、練習が始まったら、「もっとドリブルがうまくなりたい。」「もっとシュートがうまくなりたい。」などの目標を持ってるように支援します。そのうえで、目標に近づけるように、やる気を刺激したり、練習メニューを組んだりします。つまり、相手が自分の今の状態に気づいて、これからどうなりたいたいのかを考え、そのためにできることを積み重ねていけるように働きかけることがコーチの仕事（コーチング）です。

4 子育てコーチングのポイントとは？『子どもの心のコーチング』菅原裕子 参照

①『しっかりまかせる』

- ▶ いつまでも世話をし続けると自立しない。
- ▶ 自立できるように、『しっかりまかせる』。
- ▶ まかせることは放任ではない。無関心ではなく、見守る。

②『枠組みをはっきりさせる』

- ▶ どこまでまかせるか、どこはまかせないか明確にする。
- ▶ 枠組みの中で、自分の判断で行動できるようにサポートする。
- ▶ 「ああしなさい」「こうしなさい」等の指示・命令はできるだけ控える。

③『子どもの自己肯定感を高める』

- ▶ 愛された子どもは自分を大切にする。それが、自己肯定感の核を作る。
- ▶ うまくいかないことも受け入れられるようにサポートする。
- ▶ 人の役に立つ喜びを教われば、よい人間関係を築くことができる。

校長 南 喜普